

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年11月16日(水) 15時00分～15時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与

北海道電力株式会社：執行役員 藪原子力事業統括部長補佐、執行役員
村松原子力土木部長 他6名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せの検討方針（最終報告））

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁タニです。本日の面談を始めたいと思います。今日の案件としては、
0:00:08	10月28日に実施した、1088回の泊の
0:00:14	対基準津波の策定の会合のラップアップということと、あと御社の方から、北海道電力の方から、工程の、
0:00:25	変更が出そうだというようなことを聞いてましてその報告を受けるといような面談かと思います。
0:00:35	後ないってということなんですけれども、
0:00:40	ラップアップとして確認したいことだとか後工程がどう考えているとか、その辺のことをまず北海道電力の方から、ザー通り説明してもらいましょうか。いいですかねそれで、
0:00:57	北海道電力の松村です。はい。今田井さんからお話あった通り進めたいと思います。まずちょっとノンペーパーで申し訳ございませんけれども、今の検討状況等についてご説明いたします。
0:01:12	北海道電力の奥寺でございます。我々、今審査会合を受けた
0:01:19	審議結果に対してどういう状況にあるかということと、工程に関する現状について説明させていただきます。
0:01:27	10月28日の審査会合の審議結果ですけれども、
0:01:32	細かい話として、波源モデルとか地形モデルとかの違いによる傾向特徴について十分整理するという観点や、
0:01:41	川白の津波になりますけれども、第1、第2は、以降の後続はにも着目すべきではないかと、そういうような整理が必要ではないかと。
0:01:52	そういうところを踏まえた上で、全体の論理構成を説明することとそういう趣旨の内容であったかと。
0:02:01	その辺の検討内容に対して今、分析等々を進めているところですが、まず、前回の審査会合で我々考えていたところですが、
0:02:15	キーワードとしては、7でいいという波源、或いは、地形モデル1というものが、大まかな検討の中では最大になってくるような、
0:02:28	組み合わせモデルではないかと、いうような辺りを考えていたところで、以降の分析というのは、それを踏まえた上で7でいいというところを起点とした。
0:02:39	水位上昇の波源上げの分その他の波源の分析と、そういうようなステップを踏むと、そういう報告を10月28日させて8日にさせていただいた。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:52	というところであります。我々の方針に対して、審議結果の内容というのを、我々なりに全体構成含めて、イメージを整理する中でですね、
0:03:05	やはり、第2は川白の第2は移行の高度化で、組み合わせが最大にならな、ならないかというようなところを、
0:03:16	いろいろな波源7Dだけではなくていろいろな波源で確認する必要追加の分析がまず一つ必要かというような考えに至ったということ、それと地形モデルが先ほど言いましたけれども、
0:03:31	地形モデル①と、損傷を考慮したケースが複数ございますけれども①と称していたものに基づいていたものですけどその他の地形モデルについても、
0:03:43	傾向特徴について整理する人が追加で整理する必要があると。その上で、全体の論理構成なりを整理していかなければならないという、
0:03:56	そういうような思いに至ったところで、今申した二つを大きく言うと二つほどの追加の分析が生じる見込みであることから、
0:04:07	今週になってしまっているんですけども11月14日の週に、今工程の中では資料提出の
0:04:17	示していたところでありますけれども、そこはちょっと提出ができないような状況工程変更遅れるというような見込みであることを我々として確認認識したところでございます。
0:04:32	まずはそのことについて報告させていただきたいというような趣旨でございます。また、工程じゃどのぐらいになるのかというようなところについては、
0:04:42	今その追加の分析含めて検討を途上というところでございます。
0:04:50	す。
0:04:50	その内容が少し進んだところを精査になりますけれども、精査した上で、工程については報告させていただきたいなど。
0:05:02	現在の状況はこのような状況でございます。
0:05:05	報告についてはまずは以上でございます。
0:05:13	はい谷です。
0:05:16	工程、もともとそうですね今週出てくる予定だった資料っていうのが間に合わなくてっていうことで、
0:05:27	その辺がわかった時点で1回、面談を申し込んでくれたのかと思いますけれども、今工程検討中って言われてもその何ていうんですかね
0:05:39	どれぐらいのオーダーでこう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:42	ずれそうなのか、それが2週間程度の話なのか1ヶ月の話なのか、はたまた数ヶ月なのかというそそういう感覚的なものとか、
0:05:52	までは言えないんですか今日、
0:05:58	北海道電力奥寺でございます。明確なところというのが今まさに追加の分析というのをかけながら
0:06:11	出てきたものをリアルタイムに物を見ながらというような作業を進めているところでございます。その整理の状況というのが全体がまず、先ほど言った追加二つの追加分析に関してできていない状況というのが、
0:06:26	これが今の真の状況でございます。
0:06:31	そういった中で、見積もるのはたった今現時点で見積もるということは非常に難しいところではあるんですけども、
0:06:42	1週間なのか1日なのか。
0:06:46	2週間なのか1ヶ月なのか、或いは半年なのかとか、そういうようなざっとしたオーダー感。
0:06:53	で、私の感覚で言わせていただきますと、
0:06:58	11月14日の奥州の資料提出というのが、
0:07:03	もう本当に感覚的なものでございますけれども、
0:07:07	1ヶ月程度遅れる、そのような感覚のものかなと。
0:07:12	そういうような個人的な感覚でございます。以上です。
0:07:19	井谷です。その辺の話は、まずはあるある程度のオーダー感でこれぐらいなりそうだったというのをまず聞きましたのでこれから制度、
0:07:29	これ、何て言うめどが立つのはいつ、いつなのか、
0:07:34	頭んははっきりいえるのは、どれぐらいなのかとかいうのは、今後
0:07:41	プラント側との合同でやっているスケジュールのヒアリングの中でも、面談か面談の中でも説明いただけたらなと思います。
0:07:51	それでちょっとスケジュールのことから聞いてしまったんですけども、
0:07:56	これはちょっと、
0:07:57	気になったのが第2は第3は川白のですね。
0:08:01	その重ね合わせをなんか荒新、荒谷湖分析をするみたいなイメージで聞いたんですけども、
0:08:09	でもこれってですよ。
0:08:13	もうすでに評価してあるものについては、
0:08:18	かわしだどこのタイミングで重なってるのかっていうの分かってるし、北海道電力の考えてる

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:26	ずらす時間の検討、ずらす時間って全部こう、
0:08:30	見てるわけでしょう。
0:08:33	全部見てるってかなり幅、幅広にこう見てるわけですよ
0:08:39	地震の継続時間の中でのずらす時間っていうの、
0:08:43	その中で重なっているところが、もう全部が第1は第一波のピークなのか第2はのピークなのか、或いはその他のピークで重なってるような、そこがチャンピオンなってるところがあるのかとか、そういう確認をまず、
0:09:00	して、何かこう、
0:09:04	代替の傾向すべてのすべてがすべてのデータを確認するとかでは、
0:09:10	なくっても、
0:09:12	何か話ができ、
0:09:15	そうのところもあるような気がするんですけど、その辺は何かやっぱりこう何か追加分析を、結構ちゃんとやんなきゃ。
0:09:23	話ができないもんなんですか。
0:09:35	少々お待ちください。
0:09:44	北海道電力奥寺でございます。
0:09:48	一番いいのは、なるべく少ないケースで、全体の傾向を予想できれば、それは一番、
0:09:57	良いやり方かなと思うんですけども、
0:10:01	現状ですけども、今まで波源、①から⑳とか、我々として番号振ったものがございすけどもすいいが、齊田飯野は下に絞って、
0:10:14	分析を進めてきたと。それ以外のところっていうのはあまり着目しないで、我々として最大がこういうものであろうというところのフローにのっとって検討していたところもあったので、
0:10:26	それ以外のところに着目した分析ってのは今までしてなかったところですよ。
0:10:33	なので、何個か傾向っていうのを見ていくとこういうことを言えそうではないかというのはだんだん見えてくるところではあるとは思いますが、今のところ、
0:10:45	そこ、その材料を整えるところ、
0:10:50	整えているような状況なので、
0:10:53	まだ全体こうだっという感じのことを言い切れるような状況にはないと。
0:10:59	ああいう状態でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:01	以上です。
0:11:03	うーん。はい。谷です。
0:11:06	ちょっとやっぱり、我々も詳しくどうどういうことを示さないと、論理構成ができないのかっていう、どう考えてるのかというその辺がちょっと、
0:11:20	話を聞いてても、わからないし、多分なかなか、
0:11:28	で、データがない中で話してもなかなか難しい部分もあるのかもしれないですけど、こういうよう要望というか我々、まずはその度、論理構成をどうするのか、っていうことですねこの分析をやったら、
0:11:42	こう、こういうことを示せるから派遣の妥当性が示せるんだっていう、
0:11:47	その辺の
0:11:49	なんてす筋書きじゃないですけど
0:11:53	ちゃんと考えてやらないと、やればやるほど、何て言うんですかね発散していったり、
0:12:00	改めてすべての、この間の会合では、今北海道電力が考えている分析の項目、分析の内容の中で、まずは整理して、
0:12:11	説明してくださいというようなことを私言ったと思うんですけど。
0:12:15	あまりこう、論理構成がこう、
0:12:18	なんて数字ができずに、
0:12:20	やたらめったらこう解析をふやしても、
0:12:24	それ、何か時間がかかるだけであって、まずはちゃんとどういう論理構成で説明するんかっていうのを整理していただきたいっていうのが、前回の会合で伝えたかったことでもあったんですけども、
0:12:37	この辺どうなんですかねまだこう、
0:12:40	整理できていないんでしょうか。大体こう。
0:12:45	こう説明すれば、
0:12:47	波源の妥当性は示せるんだとかいう話が、
0:12:53	まだまだ見えてこない状態なんですか。
0:12:58	北海道電力奥寺でございます。
0:13:00	前回の方針等我々の方針案等の説明の中で、
0:13:06	7、7でいいというところに、ちょっと少ない比較の中で絞ってきちゃったところがあって、
0:13:16	7Dなり地形モデル市なりっていうのはあった、その選定の妥当性っていうところが議論なのかなというところがありますので、
0:13:28	前回の方針で分析にと言ったところに行く前段の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:34	ところで、まず、
0:13:39	審議結果の中で出てきていた。
0:13:42	着目するピーク、後続はも含めて、
0:13:46	どういった状況にあるのかというような
0:13:51	同一波動場で最大となる要素としての候補としてそういうピークに着目した物の選定、或いは地形モデルが、
0:14:01	①から④というのがございますので、
0:14:08	P E E Kの選定でこれが最大になりそうな可能性があるというものを絞った上で、
0:14:14	じゃあ、何でもかんでも1から20まで死刑モデルを、
0:14:19	あれは選定して1から、地形モデル1から4まで全部パラパラスタというか分析ですけども実際解析やるような話ではなくて今、
0:14:27	ある結果に対して分析をかけていくというようなところですので、
0:14:31	その分析の作業はあるんですけども、
0:14:36	大きくなりそうなP E E Kを選定した上で、地形モデルの①から④とは、
0:14:43	0から0から1から0123でしょうかね。
0:14:47	そういうようなものを絞ってものをやっつい
0:14:51	くと、その結果として、前回分析2棟へ行っていたものの、
0:14:57	やる妥当性というのは示すことができるのではないかと、そのように思っているところで、
0:15:03	やたらめったら1から20まで星取り表のように新しい解析計算をしてやると、そういうような意図ではなく、絞り込む論理としては今私が口頭で言ったようなところをイメージしているところです。以上です。
0:15:38	井谷です。
0:15:40	やっぱり冒頭で確認してもなかなかこう、やろうとしてることっちゃうのがわかりにくいっていうのはあるんですけども、いややろうとしてること自体は
0:15:51	こういうことやりますというのを口頭で聞いてわかるんですけどそれをどう論理、どういうふうに
0:15:57	組み立てていって、今のは阿南なんですかね、今の波源。
0:16:03	が、妥当なんだという話をできるのかっていうそこが何か、多分今話をしても、あんまりこう伝わってこないっていう、
0:16:15	ところが、
0:16:16	ありますね。で、北海道電力としてはその7D Eっていうのを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:22	これがと、とにかく
0:16:28	最大水側で、乱舞波源としてはこれが妥当なんだっていうのを強く持たれているってことなんですよね。で、
0:16:40	総合、
0:16:43	何でそう、そう思ってるのかっていうのをちゃんと
0:16:47	ね整理。
0:16:49	視点もらうんでその製品の中で、どういう分析に基づいてやるのかっていうのを、
0:16:56	いかに効率的にやっていくかっていうことかと思うんで、
0:17:05	引き続きんなるのかもしれない。ちょっと、場合によってはこれなんていうんですかね検討方針、もう少しこう見えた段階で、
0:17:16	会合っていうこともなるのかもしれないし、
0:17:20	ちょっと、
0:17:23	このままじゃあ後何ヶ月。
0:17:30	あと1ヶ月程度遅れるっていうのか。
0:17:34	介護をかけようと思ったらそこからまた、
0:17:37	結果がそこで出るんだったらそこからまた1ヶ月か後に会合かかるのかもしれないので、そういうことを考えるとちょっと中間的に、
0:17:48	会合をやったりとか、
0:17:56	会合ってというのがその進め方も、一部のデータが出てきて進め方も含めて会合をやるかとかそういうことも考えていきたいなと思うので、
0:18:05	ちょっと、
0:18:10	どういうふうに妥当性を評価するんですかっていう部分を、
0:18:15	もう少しちゃんと説明できるように、まずはしてもらって、
0:18:19	もちろん分析も並行して、
0:18:21	やっていただけたらなと思うんですけども、
0:18:25	すみませんねなんか私の方も、
0:18:29	なんかあまりこう具体的な話がちょっとできてないような気はしてはいるんですけども。
0:18:42	で、さっきの話僕、一番なんか2番目ぐらいに聞いたこととして、その下はしらのピークが、
0:18:51	第2は、第3パターン4、そそういうものと重なる必要が重なることが、
0:18:56	重なって大きくなってることがあるのかないのかっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:00	やっぱり何かもうすでに出ているデータとかを1回チェックしてもらおう。
0:19:06	不
0:19:07	で、さらにそれそっから何か必要なものがあるんだったら何か検討。
0:19:13	をすするっていうことになるんじゃないかと思うんですけど。
0:19:19	そう。
0:19:21	そそういう認識でいいんですかね。
0:19:23	はい。北海道電力奥寺です。今まさに谷さんおっしゃったようなことをやっています、
0:19:33	その追加の数値シミュレーションではないんですけども、重ね合わせては形を作っていくあるピッチですね、そういうチェックをする。
0:19:42	宇野に何ていうんすかね。データを引込んできて我々の机上でチェックするとか、あと気になるところに着目して絵を出してチェックしていくとかってそういう作業は生じているのが事実で、
0:19:57	まさにやっていると今丹治さんおっしゃったような棄損の解析結果の中から、データ分析している必要な机上作業をやってデータ分析しているとそういうようなことをやっているとでございます。
0:20:10	あまり我々も無駄なことっちゃうのは、意味のない作業とかはしたくないなという観点で効率的に進めようと考えているところです。以上です。
0:20:24	はい、谷です。つまりあれですかねピークの時間だとかピークの湖水っていうのは出してるんだけど、そこがどこか下がってるかっていうところがわかってない波源が、
0:20:37	計算結果はあるんだけど、それがどこどこが重なってるかわからないから、説明のしようがなくって説明用に、
0:20:47	そういう確認をしなきゃいけなくなってるってそういうことなんですか。
0:20:54	北海道電力奥寺でございます説明用といいますか分析のための資料を経て見ながらやっているとそういうような作業状況でございます。
0:21:08	必要に応じて説明には資する内容かと思っております。まずは分析なんですけれども、すみません。
0:21:37	後はちょっと話がそれるかもしれないですけど、そういう分析って、
0:21:41	何か評価地点ごとにそんなには形が変わらないんだったら、
0:21:48	代表してやるだとか、傾向をとるためにこのこのこの地点での波を見れば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:55	こっちと一緒にんだよとかそういうのがあれば何かこう上手くこう、
0:22:01	なんていうんすかね、統合させて検討するみたいなのも、あるのかと思うんですけども。
0:22:07	その辺、
0:22:10	あんまり1度、あまり我々も余計なこと言わずに、北海道電力の検討方針でやってもらおうかなと。
0:22:19	思いますけれども、さっき
0:22:22	言われたように、
0:22:24	あまり無駄なことにならないようにちょっと検討の論理構成の実効を持ってやっていただけたらと思いますんで、あれですね私なんか早速、
0:22:35	何かいろいろこう確認してしまったんですけども、介護での趣旨の中でこう、
0:22:41	介護の指摘だとかの趣旨が、が十分伝わってるっていうことで、
0:22:47	それは大丈夫そうですか。
0:22:51	北海道電力奥寺でございます
0:22:54	審議結果は鮎のように集約されているんですけども、その審議結果を出す前の会合の中でのやりとり細かいやりとり等ございましてそれが審議結果に繋がっているかと思っております。
0:23:11	そのやりとりも踏まえた上で趣旨を我々酌み取っているつもりですので、そこは、
0:23:20	我々としてはの趣旨を取り違えることなく今全体の論理構成に向けて、がっちりしたものになるべく、
0:23:30	検討を進めているつもりでございます。以上です。
0:23:37	はい、わかりました。
0:23:39	あとはね
0:23:42	ちょっと前回の会合をやったことによって若干もう少し分析としてふやしたいものができてきたとかいう話はわかるんですけども、
0:23:52	わか分かるんですけども、わかったんですけど、
0:23:56	加古川の話だとかってそれはそれで、
0:24:02	もうなんか、本来ならば、最初僕北海道電力で考えてたメニューっていうのはもうそろまとまってる時期に来てるのかなって思うんですけども、その辺にも影響するんですが今上昇側の話ばかりしてますけど、
0:24:16	下降側或いは
0:24:19	スイテイカジ間の、
0:24:21	その辺の評価ですねこれがだから今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:26	全く話を聞いてない状態なので、
0:24:31	ここでも何かこう、
0:24:35	何て言うんすかね本来こう考えてたことよりも、
0:24:39	長引きそうなこととかが出ているんでしょうか。
0:24:44	北海道電力奥寺でございます。我々、前回の会合を、
0:24:53	踏まえて、分析に分析3というふうに資料の最後の方に書かせていただいたんですけども、この流れでもって分析に分析さんに移っていこうと考えていた。
0:25:05	ところでございます。そ層厚の中で審議結果を踏まえて先ほど申しました、大きな追加分析が二つ出てきたと、というようなところで、
0:25:15	影響を受けているかというそっちの追加分析に基づいてまず、前回分析にと言っていた上昇側の分析に移っていくというところもあります。
0:25:25	その段階になったところで、分析さんと並行していろいろなものやっけていくというような段取りでございましたので、影響を受けているといひますと追加分析で押し出されるような形に、実態としてはなっております。以上です。
0:25:55	はい。規制庁谷です。
0:25:57	この辺も、下降側についても影響受けてるってということかと思う。
0:26:03	言いました。
0:26:04	ちょっと気になってるのが会合で指摘を受けたから、
0:26:09	伸びるんだってというような結構趣旨に聞こえるんですけども。
0:26:14	それはですね北海道電力のやろうとしたことをもとにして、論理構成を組んで、
0:26:21	やってくださいっていうのもメッセージとしてあったわけですね。
0:26:26	で、それで、別に、
0:26:30	北海道電力がやろうとしているこの一本の数字、そのときにやろうとしてたことで、それでこう、妥当性が説明できるのであればですね、そこをまず説明してもらえば、
0:26:41	我々としてはいいんですよね。で、その中で、このコメント回答についてコメントを受けたことについては、
0:26:53	ベッドでも説明してもらえばいいと思うし、結局
0:26:57	来コメントがあったから時間かかっているっていうけれども、
0:27:03	コメン。
0:27:04	コメント対応するために時間がかかっているっていうけれども、
0:27:08	その

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:09	追加でいろいろ検討しないと、妥当性についての論理構成が本当に久米組めてたんですかっていうようなところもあるんですけどね。
0:27:21	だから、本来北海道電力がやろうとしてることで、それで持ってきていただくだったらそれでも私はいい。いいと思いますまずは、
0:27:30	コメント回答はちょっと残してもらってもいいと思うんですね。
0:27:34	で、
0:27:37	だからあまりこう、なんていうんすかね。
0:27:41	規制庁側が、会合で指摘したから上段の部分がちょっとずれ込んでいますから後段のこの辺の説明も遅れていますっていう説明が、
0:27:51	どうも私はしっくりきていないっていうところもあって、いずれにしても全部が全部答えようとしなくてもいいんですそもそも北海道電力がやろうとしてたことを、
0:28:04	ベースに、
0:28:07	この津波の
0:28:09	選定の妥当性っていうのを示していただくのでも、それは構わないので、
0:28:15	とにかく筋書きですね炉、論理構成の部分をしっかりとですね、持っていていただいて検討を進めていただけたらと思います。
0:28:25	なんかだから、
0:28:26	うん。一部聞くんっていうのも、それは構いませんよ。検討していただけたらと思います。
0:28:33	はい。奥寺さん何か、はい。はい。
0:28:36	北海道電力奥寺でございます。ちょっと私の説明ぶりが悪かったかもしれないです決してゆ言われたから、やってるっていうそういうような、説明の趣旨ではございません
0:28:49	審議結果があのようなになった中で、これは本当に必要かどうかっていうようなところから、我々なりに検討していった結果、
0:29:00	我々として、
0:29:02	今さっき私が申しました追加検討の内容について、
0:29:07	必要性があると認識した上でそれが、もともと、
0:29:13	なんででしょうか10月28日の介護の方針では考慮できていなかったっていうところが事実なので、素行のベースってのは非常に大事なものと
0:29:24	現在認識していると。
0:29:26	ということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:28	それで増えたと、少し言葉足らずで申し訳ないんですけど言われたから、
0:29:33	言われたからやれやとかそういうような認識でやってるということではなくて我々なりに、
0:29:39	審議結果を解釈したときに、
0:29:44	必要となると我々として必要だと考えているので検討を進めているというような状況でございます以上です。
0:29:53	はい。わかりました。考えはわかりました。ただ僕の方もちょっとそこそこの部分強く言い過ぎたかもしれないですけど、あくまで本当の
0:30:03	論理構成の方角をまず見せてくださいとそこの中に、例えば、第3%とかは、第2後続はの話、川白の地すべりの、
0:30:16	そこそこの話は、見れてると思ってるけど、このデータを示すのはもうちょっと時間かかるから遅れますとかいうのはそれは別に構わないと思ってます。
0:30:26	だから優先順位をちゃんとつけてですね、
0:30:31	こうすれば、
0:30:32	妥当性が説明できるっていうこう筋書きが見えるような、
0:30:36	ものを次の
0:30:41	ヒアリングなり何なりで、議論さして、議論じゃないな、確認させていただけたらと思っていますので、まずその辺の準備を、
0:30:50	していただいて、今我々が、私が言ったようなことを踏まえてもう1回こう工程っていうのも見てもらえたらと、まだ検討中と言ってますけれども、こうても、
0:31:03	考えていただいたらと思いますので、よろしくお願いします。
0:31:09	北海道電力奥寺でございます。作業の、
0:31:13	もちろん物量についての効率性後という検討順序であると妥当だというような、検討の妥当性がいえるのかというようなところを意識した上で、
0:31:25	なるべく法律的な工程になるように、意識しながら作業を進めたいと思います。またその工程等が見えてきた段階では、説明させて、具体的に説明させていただきたいなと工程についてですね。
0:31:39	そのようには考えてございます以上です。
0:32:25	規制庁の名倉です。
0:32:28	私自身の解釈としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:31	一応こちらのコメントも踏まえて、しっかり対応をするということを念頭に、
0:32:38	検討を進められていてその結果として、
0:32:41	資料提出が
0:32:43	遅れるというふうな話を伺えたというふうに理解をしました。
0:32:49	それで、
0:32:50	12月の
0:32:52	1ヶ月程度遅れる可能性は高いという話をお聞きして、
0:32:59	それでもしですね、資料提出が年明けになるということであれば、
0:33:05	1回ですね火山灰か、基準地震動がどちらの会合かわかりませんが年内にもし何かカイゴ案件開催するときに、
0:33:14	津波の方について今こういう状況で、スケジュールが少し遅れますということの、
0:33:20	報告をですね1回簡単にしてもらおうということを今聞いた上で考えてますので、必要に応じた対応ということでよろしくお願いします。
0:33:31	ということでもう少し遅れるということであればまた別のヒアリングの時にでも構いませんので言っていただければと思います。私からは以上です。
0:33:45	北海道電力の松村です。
0:33:50	松波に関しては先ほど奥寺からもあった通りちょっとまだ見込みが正確に立ったわけではないんですけども、1ヶ月程度を目途に何とか資料提出させていただければと思ってございます。
0:34:02	その場合ちょっと年内の会合ができるかどうかということはまだ、相談させていただきたいと思いますけども、今、名倉調整官からありましたように、
0:34:12	もし遅れるようであれば、その他の会合等々で説明させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。
0:34:24	規制庁側です。よろしく申し上げます。
0:34:27	規制庁側からの確認以上の意思たいんですけども、何か。
0:34:32	北海道電力からありますか。
0:34:38	はい。
0:34:40	北海道電力奥寺でございます。特段にございません。
0:34:46	井谷です。それでは今日の面談を終わりにしたいと思います。
0:34:51	どうもお疲れ様でした。
0:34:53	ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。